

# こいた 小板まきばの里通信 Vol 9.2

～木の若葉を観察してみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

## ■キャンプ場周辺で春の植物を探索しよう！



コバノ  
ミツバツツジ



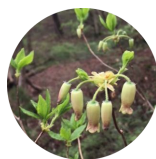
ギンリョウソウ



タチツボ  
スミレ



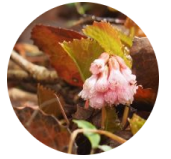
オトコ  
ヨウゾメ



ウスギ  
ヨウラク



ミヤマシキミ



イワカガミ



ムラサキ  
サギゴケ



カキドオシ



ウワミズ  
ザクラ



イカリソウ



チャルメル  
ソウ



ツボスミレ



ミツバ  
ツチグリ

## ■里山の自然観察 ～木の若葉を観察してみよう～

ヤマザクラの花が終わりに近づく5月初旬になると、木々の若葉が一斉に芽吹きだします。キャンプ場周辺の山々は色とりどりの新緑に覆われて、まるで紅葉したように美しい景色になります。このあたりの新緑の景色が美しいのには2つの理由があります。1つは中国山地がたたら製鉄のメッカだったこと。製鉄に使う炭の原料となる広葉樹が大量に必要なため、スギやヒノキの人工林が少ないのです。もう1つは標高が高く寒さに弱い常緑広葉樹の高木が少ないため、ほとんどすべての落葉広葉樹がこの時期に一斉に芽吹くこと。近くで見ると若葉の色や形は赤いヤマザクラ、黄緑のクロモジ、白いミズキ、むきバナナのような形のホオノキなど木によって様々です。散歩しながらこの季節にしか見られない個性的な木の若葉を観察してみましょう。